

# 新都市医師会長の紹介

## 就任ご挨拶

留萌医師会

会長 角 隆巨



北海道医師会の皆様には日頃より留萌医師会の運営にあたり、温かいご支援、ご指導をいただき、心から感謝申し上げます。

この度、留萌医師会の会長に就任いたしました。

私は札幌医大の44期生として卒業し、第一外科へ入局、医局人事にて道立羽幌病院、津別病院等で勤務し、研鑽を積む中で地域医療の現実と厳しさを知るようになりました。同時に患者様に感謝される事に喜びとやりがいを感じ、将来は地域医療に携わりたいと思うようになりました。平成16年に旧澤泉病院を継承し、名称変更の後、平成17年に医療法人心優会 留萌記念病院として開院しました。当時39人の職員と共に、病床39床の留萌記念病院がスタートし、以来15年間地域に求められる医療、看護、介護

の質の向上に努めてまいりました。留萌医師会では平成16年に理事となり、以来、15年間活動しております。

留萌地域における医療提供体制は大変厳しく、特に羽幌町以北は、崩壊の危機に直面しております。全国的に少子高齢化が進む中、若い人は高校を卒業すると同時に地方の都市へ行ってしまい、留萌地域に残る人はほとんどいないのが実情で、医療従事者の確保は医師のみならず、すべての資格職において確保が困難になっています。また留萌地域では単身高齢者の割合が高く、時には高齢者の孤独死も耳にします。国が進める在宅医療を進めるためには住民に対し、在宅医療に関する情報提供が必要だと感じております。留萌地域の医療は留萌と羽幌にある2つのセンター病院を中心に、心ある先生方の善意で何とか成り立っているのが現状です。様々な地域の問題を抱えながら留萌医師会の活動を通して少しでも改善につながればと考えています。甚だ微力ではございますが、皆様のご指導、ご鞭撻をたまわりながらしっかりと地域医療の為に汗をかく所存でございますので何卒よろしくお願い申し上げます。

## 医の倫理綱領

### 日本医師会

医学および医療は、病める人の治療はもとより、  
人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、  
医師は責任の重大性を認識し、  
人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

- 1 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
- 2 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
- 3 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
- 4 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
- 5 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
- 6 医師は医業にあたって営利を目的としない。